

神裕也選手(東洋大学・男子1部)  
コンバインドスプリント9位  
コンバインド6位



畠山長太選手(早稲田大学・男子1部)  
コンバインドスプリント準優勝  
コンバインド準優勝  
スペシャルジャンプ9位



渡部巴選手(岩手大学・女子2部)  
ジャイアントスラローム6位

秩父宮杯・秩父宮妃杯・寛仁親王杯  
第82回全日本学生  
スキー選手権大会

永井健弘選手(日本体育大学・男子1部)

コンバインドスプリント10位

コンバインド5位

スペシャルジャンプ6位

スペシャルジャンプ団体8位



工藤詩乃選手(東北学院大学・女子3部)

ジャイアントスラローム優勝

スラローム準優勝



近江谷一樹選手(秋田大学・男子4部)

ジャイアントスラローム3位

スラローム3位

# 栄冠に笑顔が きらめく

## =2009 INTERCOLLEGIATE SKIING GAMES OF JAPAN=

八幡平市に合併後、初めてとなるスキートの全国大会、第82回全日本学生スキー選手権大会(インカレ)は1月12日から18日までの7日間、市内各会場で開催されました。

世界大会にも出場する国内トップレベルの選手など約千人が参加。アルペン、クロスカントリー、コンバインド(複合)、スペシャルジャンプの各競技で母校の名誉をかけて、白銀の世界を舞台に熱戦を繰り広げました。

市出身の選手も多数参加。男子1部のコンバインドスプリント種目では、畠山長太選手(早稲田大学)、神裕也選手(東洋大学)、永井健弘選手(日本体育大学)が同時に入賞。コンバインド種目でも、同じく3人が入賞を果たすなどの大活躍を見せました。アルペンでは、女子2部ジャイアントスラローム種目で渡部巴選手(岩手大学)が入賞、3部で工藤詩乃選手(東北学院大学)がジャイアントスラローム種目、スラローム種目でそれぞれ入賞しました。男子4部でもジャイアントスラローム種目とスラローム種目で近江谷一樹選手(秋田大学)が入賞するなど、地元開催の大会で大いに実力を発揮しました。

### MEMO：全日本学生スキー選手権大会とは



全日本学生スキー選手権大会は昭和3年、青森県大鰐温泉で第1回大会を開催。その後、戦争による中断を経ながら今大会まで82回を数える伝統の大会です。大学対抗戦で行われ、10位までを入賞としてポイントを加算。男子は4部制、女子は3部制で行われ、各部の間で成績に応じて入れ替えが行われます。

男子1部総合優勝校に秩父宮杯、女子1部総合優勝校には秩父宮妃杯を授与。クロスカントリー競技の男子リレー優勝校に旧秩父宮杯、女子リレー優勝校には寛仁親王杯がそれぞれ授与されます。

市として初めての開催となるスキー全国大会を成功に導くため、関係機関などと連携しながら総力を挙げて取り組みました。

インカレを盛り上げるため、市民の皆さんも運営に多数参加。三笠宮寛仁親王さまをお迎えした開会式では、西根中学校の吹奏楽部が演奏を担当しました。式典では、田頭小学校の児童が国旗掲揚を補助。また、開会式の会場となった西根地区体育館では、新岩手農協女性部の皆さんが豚汁を振る舞い、選手たちを温かく出迎えました。

開会式後のレセプションでは、市の郷土食材を用いた料理でもてなし。大更さんさ踊りサークルの皆さんによる踊りを、全国から集まった選手や役員の前で華やかに披露しました。

スキー大会での協力協定を結ぶ、陸上自衛隊岩手駐屯地からは125人の協力隊が派遣。各会場でもコース整備などに尽力しました。

今回のインカレは市として一体感が高まっただけでなく、来年の全国中学校スキー大会など今後も続く全国大会の開催に向け、手応えをつかんだ大会となりました。


## =2009 INTERCOLLEGIATE SKIING GAMES OF JAPAN=



1豚汁で選手たちを温かく歓迎する女性部の皆さん 2歓迎レセプションでさんさ踊りを披露 3開会式では西根中学校の吹奏楽部が国歌などを演奏 4コース整備などで多くのスタッフが大会を支えました




**Voice** 地元選手たちの声～インカレを振り返って～



**永井健弘選手**

皆さんの応援のおかげで、地元選手3人が同時入賞を果たすなど、八幡平市のスキーのレベルが高いことを証明できました。ユニバーシアドでも畠山選手とメダルを目指します。

今回のインカレでは、もう一段上の成績を狙っていたので、悔しいところもありました。ジャンプでの課題も見えたので、ユニバーシアドでいい成績を出せるよう、がんばります。



**畠山長太選手**